

岡山県立岡山西支援学校スクールバス（Ａコース） 運行管理業務仕様書

1 委託業務名

岡山県立岡山西支援学校スクールバス（Ａコース）運行管理業務

2 委託業務の概要

岡山県立岡山西支援学校（以下「学校」という。）の児童及び生徒（以下「児童等」という。）の登校・下校のためのスクールバスの運行及び岡山県が所有するスクールバスの保管管理。

3 運行管理車両（以下「車両」という。）

車両は、岡山県が所有するスクールバス１台とし、仕様等は別紙１「自動車検査証（写）」及び別紙２「自動車車歴表（写）」のとおりである。

なお、車両の使用について明らかにするため、岡山県と受託者間でスクールバス使用貸借契約を締結するものとする。

4 委託期間

令和８年８月１日から令和１１年７月３１日まで（３年間）

ただし、令和９年度以降において、岡山県の歳入歳出予算の金額について減額又は削除があった場合は、契約を解除する。

5 委託業務内容

（１）学校の児童等の登校・下校のための車両の運行

ア 輸送業務

学校が作成する登校・下校及び学校行事の輸送計画に基づき、指定した運行経路、運行時刻等の運行条件を遵守し、児童等を安全かつ確実に輸送する。

イ 運行日等

スクールバスの運行経路、運行時刻、停留所は、別紙３「岡山県立岡山西支援学校スクールバス（Ａコース）運行表」のとおりとする。

運行日は、土曜日、日曜日、祝日、夏季・冬季・春季休業日を除くが、学校行事によっては、休日に運行する場合がある。

なお、岡山県立岡山西支援学校長（以下「学校長」という。）は、運行日及び運行時刻を変更する場合、原則としてその日の属する月の前の月の２５日までに受託者に示すものとする。ただし、災害による臨時休校等のため変更となる場合もある。

ウ 運行予定日数

令和 ８ 年度 １２４日（２４８便以内）別紙４のとおり

令和 ９ 年度 ２００日（４００便以内）

令和１０年度 ２００日（４００便以内）

令和１１年度 ７６日（１５２便以内）

児童等の登校便と下校便の１日２回運行する。

エ 非常変災その他やむを得ない理由による運休

非常変災その他やむを得ない理由により、授業日であった日を学校休業日に変更する場合又は指定したスクールバスの運行を学校都合により運行を要しないものと変更した場合、学校からその変更した日の属する日の午前6時45分までに通知があった場合は運休とする。

また、午前6時30分の時点で岡山西支援学校学区に「暴風」「大雨」「洪水」「大雪」「暴風雪」のいずれかの警報又は特別警報が発表されている場合、前日の午後5時から午前6時30分までに震度5弱以上の地震が発生した場合は運休とする。

上記により運休した便について、1日当たりの運行経費についての金額は請求できないものとする。

(2) 車両の保管

学校敷地が狭隘であり、車両を敷地内で保管することができないため、運行しない時の車両は、点検整備等を除き受託者の車庫等で適切に保管すること。

なお、学校敷地から2km以上離れた場所で保管する場合は、「自動車検査証」の使用に係る記載項目を受託者の内容に変更するとともに、車両を事業用自動車（緑ナンバー）として登録すること。

(3) 車両の管理

ア 継続検査、法定点検、日常の点検整備、修理及び清掃の実施

イ 油脂（燃料、潤滑油）等の給油及び給油作業

ウ 運行管理上必要な物品の購入及び管理

エ 事故の際の処理及び補償に関する事項

オ その他上記に付帯する事項

(4) 車両運行管理責任者の選任

受託者は、従業員の中から車両運行管理責任者を選任し、運行条件を遵守させるよう努めること。また、車両運行管理責任者の業務を補助させるため、副車両運行管理責任者を選任すること。

(5) 乗務員の選任

受託者は、従業員の中から運転手1名（過去3年間に事故歴及び違反歴がないこと）及び介助員1名を選任し、輸送業務を行わせること。また、それぞれ代行者を選任し、運転手又は介助員が事故その他の事由で業務を遂行できないときは、代行者に業務を行わせること。

また、運転手について、【5（2）車両の保管】において車両が事業用自動車での登録となる場合は、第二種運転免許を保有している者を選任すること。

(6) 乗務員の健康管理

受託者は、定期健康診断を実施するなど、乗務員の健康管理について特段の配慮を行うこと。乗務員が、学校保健安全法施行規則第18条で規定する伝染病に感染するなど児童等の健康に影響を与える恐れがある場合には、直ちに必要な措置を講ずるとともに、口頭及び書面により学校長に報告すること。

(7) 車両の維持等

ア 受託者は、常に車両の点検整備を行い、児童等が常に安全かつ快適に通学できるよう努めること。

イ 特別支援学校の児童等の実態に応じて必要と認められる場合は、双方協議のうえ、車両の仕様を変更する場合があるものとする。

ウ 事故や自然災害、車両の故障等により予定の運行が不可能となった時は、双方協議のうえ、速やかに運行管理車両と同等の代車を配車する等適切な処置を行うこと。

エ 受託者は、連絡用スマートフォンを装備し、運行中は常時使用可能な状態にしておくこと。

オ 受託者は、いわゆる車検の受検若しくは故障及び不調等により修理を実施した場合は、適宜、書面（任意様式）で当該内容について学校長に報告すること。

（８）児童等に対する支援及び理解

ア 特別支援学校の児童等は、情緒が不安定な場合があり、その行動には常に気を配り、乗降時はもとより、乗車中においても必要に応じて、介助を行うこと。

特に、複数の障害を有する重複障害児童等にあつては、肢体の不自由な者、体力が著しく劣る者、健康状態が不安定な者等があり、バスの走行にも細心の注意を払うこと。

イ 児童等の中には、言葉での意思疎通を行うまでに至らない者もあり、お互いに信頼関係が築かれ、行動の予測や要望が理解できるよう愛情を持って接すること。

ウ 児童等に対しては、教育の場にふさわしい態度を持って接すること。

（９）安全面の配慮

次に掲げる事項を遵守し、児童等の安全な輸送に最大限の注意を払うこと。

ア 児童等が乗降車するときは、完全に車両が停車してから扉を開け、児童等が席に座ったことを確認してから発車すること。介助員は降りて乗降場所の安全確認をし、適宜乗降者の補助をすること。

イ 児童等の乗車又は降車の際は、スクールバス乗車名簿（本校所定の様式）で必ず児童等を確認すること。

また、降車の際に児童等の引き渡す人が決まっている場合は、その人に引き渡すこと。停留所にその人がいない時は、該当児童等を学校まで送り届けることとし、別途料金は発生しないものとする。

ウ スクールバスの走行中に児童等の著しい問題行動があった場合は、速やかに安全な場所に停車し、車内の安全が確認されてから走行すること。

エ 児童等の置き去り等の事故が発生しないように、登校時における学校着及び下校時における最終降車場所において、スクールバスに設置している降車時確認式安全装置を操作し、すべての児童等が降車したことを一番後ろの席まで確認すること。

（１０）衛生面の配慮

次に掲げる事項に留意し、常に清潔に保つこと。

ア 床面や座席等を適宜清掃し、常に清潔な状態を保つこと。

イ 大小便で汚れる場合があるので、必要に応じ座席にシートを敷くこと。

ウ 大小便や血液には、他の児童等が触れないようにすること。

エ 救急薬品を携行すること。

（１１）緊急時等の処置

ア 連絡用スマートフォンを装備し、交通事故やてんかん等の体調不良など緊急事態が発生した時は、別紙５「スクールバス緊急対応連絡体制」に基づいて、直ちに適切な措置を講ずるとともに、学校及び関係者に速やかに通報すること。

イ 交通渋滞等により規定どおりの運行が困難となった場合は、学校に連絡し適切な指示を受けること。

ウ 自然災害等により緊急下校することになった場合は、学校からの緊急下校の連絡により速やかに配車すること。

(12) 損害賠償

契約期間内の車両の管理中における事故等の発生により、岡山県、学校の児童等又は第三者に損害を与えた場合は、損害賠償責任を負うこと。また、事故に備え、対人・対物及び搭乗者等に対する賠償が行えるよう契約内容を考慮し、任意保険に加入すること。

6 委託業務の範囲

- (1) 一般貸切旅客自動車運送事業の許認可を受けるための事務
- (2) 車両の運行
- (3) 車両の点検整備及びいわゆる車検の受検
- (4) 車両に係る自動車損害賠償責任保険更新手続き及び保険料納付
- (5) 車両に係る自動車重量税の納付
- (6) 乗務員の管理、指導及び教育
- (7) 車両の故障又は事故等で運行できない場合の代替輸送の手配
- (8) 車両の適切な保管、管理
- (9) その他スクールバス運行及び保管管理に必要な事務

なお、(1) について、【5 (2) 車両の保管】において車両が事業用自動車での登録となる場合は、「一般貸切旅客自動車運送事業」を「特定旅客自動車運送事業」に置き換える。

7 費用の負担

業務実施にあたって発生する費用については、全て受託者の負担とする。

8 経費積算

(1) 固定経費

人件費（運転手1人・介助員1人の給与、賞与）、福利厚生費、スクールバス点検・整備・保管・修理費、車検費用（法定費用を含む）、任意保険料、携帯電話料、代替輸送費及びその他事務経費等運行便数に関係なく必要な経費についての契約期間内（3年間）の総経費。

(2) 運行経費

燃料費、油脂費等運行に必要な経費について、契約期間内（3年間）の総経費。

9 運行前の事前打合せ

受託者は、契約締結後、実際の運行業務が始まるまでに、学校と運行内容について打合せを行い、運行コースを試走する等して安全を確認するものとする。また、運行内容に変更があった場合も同様とする。

10 乗車確認表の提出

乗務員は、スクールバス乗車確認表を携行し、当該運行終了後に必要事項を記入し、学校の確認を受けるものとする。

11 契約締結時に提出する書類

- (1) 本委託業務に係る落札者の組織・連絡体制図
- (2) 乗務員、代行者及び車両運行管理責任者等の名簿
- (3) 運転手の運転記録証明書
- (4) 暴力団の排除に係る誓約書
- (5) 守秘義務に関する誓約書
- (6) 落札金額の積算内訳書（契約金額の変動が生じる契約内容の変更がある場合の積算資料とするため、正確を期すこと。）

12 その他

- (1) 道路運送法、道路交通法その他関係法令を遵守すること。
- (2) 業務遂行にあたっては、岡山県立岡山西支援学校職員の指示に従うこと。
- (3) 教職員及び保護者については、特別な事情があった場合に限り、スクールバスの運行管理に支障のない範囲において、学校長が認めた者を乗車させるものとする。
- (4) 乗務員（運転手、介助員）及び車両運行管理責任者は、学校において年数回開催するスクールバス連絡会に出席すること。
- (5) スクールバス位置情報システムを利用するため、連絡用スマートフォンを使用してスクールバス位置情報を学校と共有できること。
- (6) 連絡用スマートフォンについて、運行中は常時使用可能な状態にし、充電器を車両に搭載する等充電は受託者で行うこと。
- (7) 業務上知り得た秘密や個人情報を他に漏らさないこと。契約期間終了後も同様とする。
- (8) 乗務員及び車両運行管理責任者等を変更する場合は、速やかに学校長へ届け出ること。
- (9) 本仕様書に定めのない事項については、学校長及び受託者が協議して決定するものとする。

自動車検査証

令和 8年 5月 14日 岡山運輸支局長

741260055831

車検証閲覧
アプリはこちら

自動車登録番号又は車両番号		初度登録年月	自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	型式指定番号	類別区分番号
岡山 200 は 817		平成21年 9月	普通	乗合	自家用		
車名			車体の色				
日野			リヤーエンジン				
車台番号			燃料の種類		総排気量又は定格出力		
RR7JJB-40539			軽油		6.40 [㎥]		
型式	原動機の型式		前輪軸重	後輪軸重	後部軸重	総重量	
BDG-RR7JJBA	J07E		1940 [㎏]	-	-	5110 [㎏]	
乗車定員	最大積載量	車両重量	車両総重量	長さ	幅	高さ	
56[46] ^人	- [㎏]	7050 [㎏]	10130[9580] [㎏]	896 [㎝]	234 [㎝]	303 [㎝]	
使用者の氏名又は名称							
岡山県立岡山西支援学校							
備考							
NOx・PM適合, その他							

この裏面には電子部品（ICチップ）を
内蔵したICタグがありますので、大切に
使用・保管してください。

裏面もご覧ください。



T9460LF3420154

国土交通省

9216

A

記録年月日 令和 8 年 5 月 14 日

自動車検査証記録事項

741260055831

1. 基本情報											
自動車登録番号又は車両番号		岡山 200 は 817									
車台番号		RR7JJB-40539									
登録年月日／交付年月日		平成 21 年 9 月 28 日		初度登録年月		平成 21 年 9 月		有効期間の満了する日		令和 8 年 9 月 27 日	
2. 所有者・使用者情報											
所有者の氏名又は名称		岡山県									
所有者の住所		岡山県岡山市北区内山下2丁目4-6 [33001 0253]									
使用者の氏名又は名称		岡山県立岡山西支援学校									
使用者の住所		岡山県岡山市北区田中579 [33001 1533]									
使用の本拠の位置		***									
3. 車両詳細情報											
車名		日野 [262]									
型式		BDG-RR7JJBA				原動機の型式		J07E			
自動車の種別		普通		用途 乗合		自家用・事業用の別		自家用			
車体の形状		リヤーエンジン [013]				乗車定員		56 [46] 人		最大積載量 - kg	
車両重量		7050 kg		車両総重量		10130 [9580] kg		長さ		896 cm	
前前軸重		1940 kg		前後軸重		- kg		後後軸重		5110 kg	
燃料の種類		軽油				型式指定番号		類別区分番号			
4. 備考											
<p>[岡山]、変更登録 令和7年度エネルギー消費効率（JH25モード燃費値）算定未了 使用車種規制（NOx・PM）適合。この自動車の使用の本拠はNOx・PM対策地域外です。 [走行距離計表示値] 77,200km（令和7年8月26日） [旧走行距離計表示値] 70,700km（令和6年8月29日） [受検種別] 指定整備車 [検査時の点検整備実施状況] 点検整備記録簿記載あり [受検形態] 指定整備工場 [整備工場コード] 74-00075 [その他検査事項]（1）平成10年騒音規制車 近接排気騒音規制値99dB 乗車定員及び車両総重量欄の括弧外は高速道路等を運行しない際の立席を含めたすべての乗車装置を最大に利用した状態を、括弧内は立席を除く乗車装置を最大に利用した状態を示す。 以下余白</p>											

【注意事項】

記録事項はシステム登録時点の情報となります

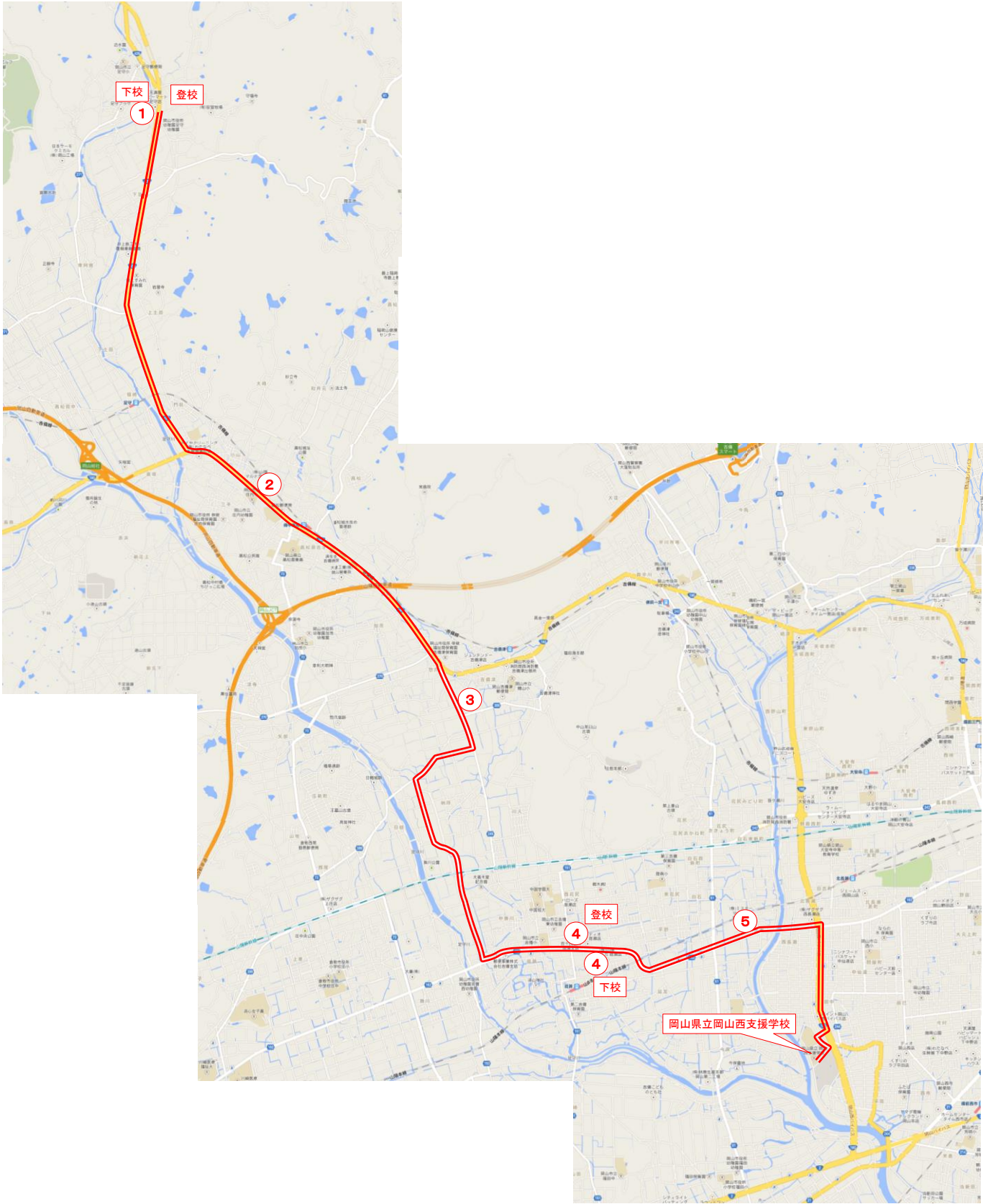
車両ID T9460LF3420164



自動車歴表

所属コード	1N07	所 属	岡山西支援学校		取扱区分	貸付		所有区分	県所有	
登録年月日	平成21年9月28日	登録番号	岡山200は0817		種別用途	普通乗合自動車		形 状	リヤーエンジン	
型 式	BDG-RR7JJBA	車体番号	RR7JJB-40539		乗車定員 (人)	56	車両重量 (kg)	7,050	車両総重量 (kg)	10,130
車 名	日野	通 称	メルファ				総排気量(cc) 定格出力(kw)	6,400	駆動方式	その他
燃料種別	軽油	燃費基準					任意保険 (用度課契約)	未加入	駐 車 場	
装備品等										
取得年月日	平成21年09月29日	取得価格(円)	12,211,480		取 得 先					
貸 付 先	(株)エスアールティー		貸付期間	令和8年05月01日 ～ 令和8年07月31日			車検有効期限	令和8年09月27日		
借 受 先			借受期間	～			メンテナンス会社			
＜ 稼 働 状 況 等 ＞	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	※令和2年度～令和7年度の稼働実績は、岡山西支援学校での実績ではなく、車両管理換前の岡山盲学校での実績である。			
年 間 稼 働 日 数	204	205	203	221	209	192				
年 間 燃 料 (L)	2,068	2,167	2,167	1,325	1,372	1,325				
年間走行距離 (km)	5,832	6,570	6,039	4,415	4,024	4,347				
年 間 修 理 費 (円)										
累計走行距離 (km)	80,953		累計修理費 (円)				稼働状況	稼働中		
配置履歴1	令和8年05月01日	岡山盲学校		管理換	配置履歴2					
配置履歴3					配置履歴4					
備 考										

岡山県立岡山西支援学校スクールバス(Aコース)運行表



Aコース							
登校		下校	月火木金	水	学校行事	11:15下校	
1 足守(ハピーズ足守店)	7:45	岡山西支援学校	15:00	14:00	11:40	11:15	
2 高松中(マルナカ)	7:51	5 白石(にしき)	15:05	14:05	11:45	11:20	
3 吉備津(リサイクル)	7:58	4 庭瀬(金光薬局)	15:10	14:10	11:50	11:25	
4 庭瀬(わたなべ生鮮館)	8:18	3 吉備津(リサイクル)	15:20	14:20	12:00	11:35	
5 白石(城口)	8:35	2 高松中(イデッソ高松店)	15:25	14:25	12:05	11:40	
岡山西支援学校	8:45	1 足守(ハピーズ足守店)	15:35	14:35	12:15	11:50	

スクールバス利用者、道路の状況等により、運行区間、経路、停留所、停車時刻が変更になることがある。

運行予定日数表

別紙4

1 登下校日数

年	月	日数
令和8年	8月	0日
	9月	19日
	10月	21日
	11月	19日
	12月	18日
令和9年	1月	16日
	2月	18日
	3月	13日
令和8年度合計		124日
令和9年度(見込)		200日
令和10年度(見込)		200日
令和11年度(見込)7月31日まで		76日
合計		600日

1:児童等の登校便と下校便の1日2回運行する。

2:スクールバスを運行しない日(年度により異なる場合がある)

(1)土曜・日曜・祝祭日

(2)夏季休業日

(3)冬季休業日

(4)春季休業日

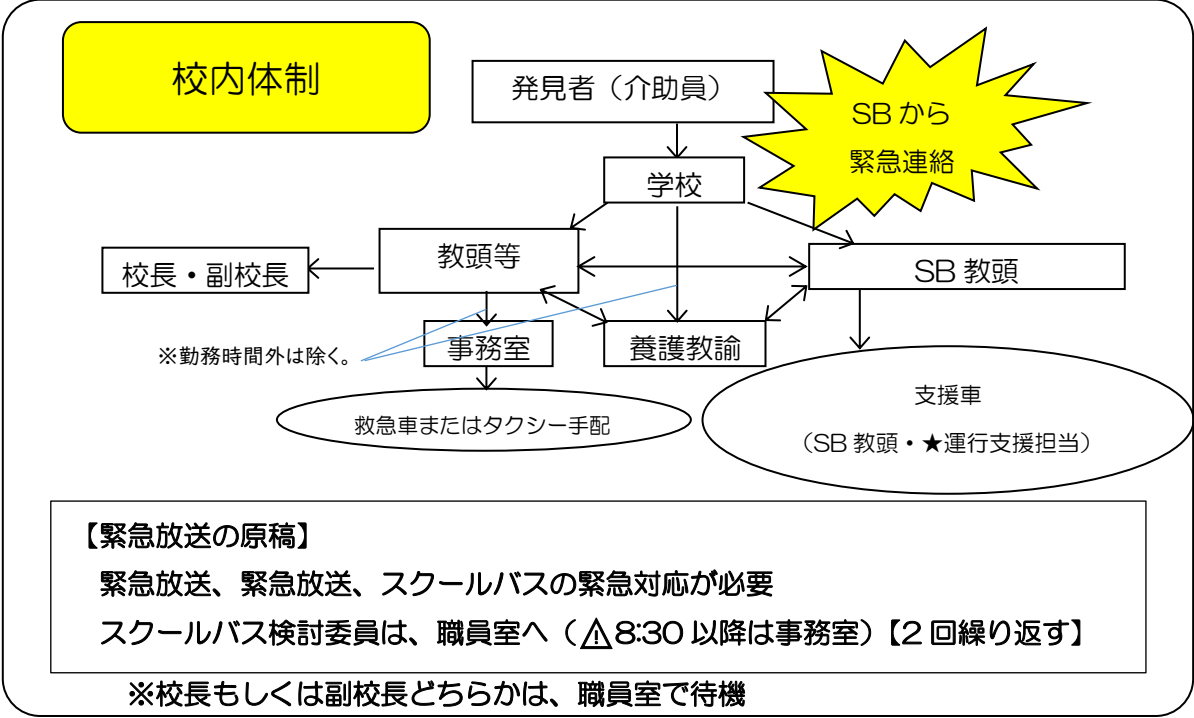
(5)警報発令時、災害発生時、その他事情による臨時休業の日

ただし、学校行事等の都合より、これらの日に運送を必要とする場合は運行する。

スクールバス緊急対応連絡体制

★スクールバス検討委員（実動）
【校長、副校長、事務長、各部教頭、主幹教諭、指導教諭、養護教諭】

救急車は、校長等管理職の指示で依頼することが原則。
しかし、一刻を争う場合は、発見者（介助員）が直ちに救急車を手配し、校長等には事後報告する。



AED は職員室入口の棚の中、体育館棟 2F エレベーターホール。緊急時には現場に持って行く。

【 教職員の役割 】

発見者 （介助員）	<ul style="list-style-type: none">・児童生徒の観察・安全確保や救命処置 <div>・学校へ緊急連絡【 086-243-4535 】</div> <div>・緊急を要する場合は救急車要請し、学校へ連絡</div>
校 長 副校長	<ul style="list-style-type: none">・情報の把握と総合的判断・指示・ラクメ配信の検討
SB 教頭 ★運行支援担当	<div><ul style="list-style-type: none">・直行車出動・学校携帯、タクシーチケット持参・救急車の誘導 及び 救急車同乗★運行支援担当（主幹教諭等）から 1 ～ 2 名運行支援車に同乗</div> <div><ul style="list-style-type: none">・保健ファイルの準備・AED、救急処置物品の準備・緊急時持ち出しカバンの準備</div>
SB 検討委員	<div><ul style="list-style-type: none">・対応について役割の確認および指示・連絡〔・救急車の要請を指示・保護者への連絡を指示・校長・副校長に連絡〕</div> <div><div>連絡・緊急放送（内線 1 9 0）</div><div>・救急車の要請（1 1 9 番通報）</div><div>・保護者への連絡</div><div>記録・経時的な観察と記録</div><div>・その他、教頭の指示によることなど</div></div>